

INTEGRATED REPORTING <IR>

IIRC ニュースレター 7-8月号

米国証券取引委員会から 連携強化のメッセージを 受け取った IIRC

IIRC は、米国証券取引委員会 (SEC) に向けた最近のプレゼンテーションにおける「経営者による経営成績ならびに財政状態の説明および分析」を補強する考え方と、「統合報告」との間に認められる強固な関連性を強調している。これは、国際コーポレートガバナンスネットワークカンフェレンスにおける同委員会チェアマン Mary Jo White 氏が行ったスピーチで、市場参加者たちからの「『統合報告』を求める声」について語ったことを受けたものである。

投資家向けの有意義かつ意思決定の際に有益な情報を強化するという IIRC のコミットメントに連動し、同氏はさらにこう続ける。「私たち SEC では、引き続き進捗状況を密接に監視しながら、投資家その他の皆さんと連携し、当委員会が現行のルールを見直しつつ強化し、投資家に対する委員会の義務を果たすべく、今日の世界における投資および投資の意思決定をくたす上で投資家の皆様が必要とする情報を提供してまいります。」

SEC へのプレゼンテーションの中で、IIRC は、価値創造に影響を及ぼすさまざまな要因全範を投資家に伝達するよう企業に奨励する取組みを強化し、簡潔で、接続性の高い、戦略的にフォーカスされた報告を行うことの重要性を強調した。また、当評議会では、サステナビリティ問題の報告を行うことが重要なファーストステップではあるものの、「統合報告」は企業に対し、知的資本や製造資本、社会資本といったその他の重要リソースがビジネスモデルにどのような

限られた選択肢の中
から、バランスの
とれた意思決定へ：
企業報告の改革者
として取組んだ
Paul Druckman
(IIRC の CEO) による
5 年間の回想

ロンドンで 2016 年
12 月 6 ~ 7 日に
開催予定の
ICGN-IIRC
カンフェレンスへの
参加申込はこちらから

関わりをもつかという点についても検討するよう求めていると指摘した。IIRC のチーフ・テクニカル・オフィサー Lisa French は次のように語った。「皆さんの会社がシリコンバレーの企業と想像して下さい。皆さんの革新的な企業文化や知的資本、あるいは皆さんが属する業界のなかで最良かつ最も優れた才能を魅きつけ、彼らの関心を維持してゆく能力の重要性について、どのように、どこで報告されているでしょうか？もし皆さんがリテール銀行ならば、貴行の信頼性や効率性、支店網や ATM といった主要な銀行インフラの戦略的ポジショニングについて、どのように、どこで報告していますか？最後に、皆さんが競合他社と協働しながら製造基準の向上に取り組んでいるエレクトロニクス関連企業であると想像してください。どのように、どこで、こうした戦略的パートナーシップや業界内の協働作業の質について報告されていますか？」

このプレゼンテーションでは、SEC から寄せられた、「レギュレーション S-K 要件であるビジネスおよび財務の開示」に関する相談案件に対する IIRC からの回答を補完したが、その中で、原則ベースの要件や、事業戦略報告、リスク開示の強化や MD & A の改善といった領域に合致するさまざまな機会について強調した。Ceres や Rockfeller、CalPERS などの投資家団体や、同様に「統合報告」に向けた進化の重要性を重視している AICPA、KPMG、CDP、CDSB といった報告・会計部門のさまざまな組織も、「統合報告」が果たすべき役割を強調しつつ、相談案件に回答した。

自然界を保護・強化する 「自然資本プロトコル」 および「<統合報告> フレームワーク」の活用

2016 年 7 月中にロンドンで開催されたイベントにおいて、自然資本との関係を理解することにより企業がより正しい意思決定を行うことを可能にする Natural Capital Coalition (NCC) 主導の共同プロジェクトの集大成「自然資本プロトコル」が発表された。

当評議会 CEO、Paul Druckman は、同プロトコルが「重要である理由は、組織が、単なる財務データではなく、広範な情報のさまざまな組み合わせを考慮することの重要性を（同プロトコルが）認識している点にある。」と述べた。IIRC と NCC では、それぞれのアプローチが相互に補完しあうような方法を設定している。

「NCC と IIRC の双方は、財務情報以上のものを採り入れ、企業・組織の意思決定に統合的思考を導入することの重要性を認識しています。NCC と IIRC では、組織がそうした目標を達成するために活用できるよう、それぞれ『自然資本プロトコル』と『国際統合報告フレームワーク』を開発してまいりました。

これら 2 つのアプローチは相互補完的であり、どちらか一方の利用者は、もう一方のアプローチについても、どのように自社の業務の助けになるかを検討してみる必要があります。『自然資本プロトコル』は、自然資本を識別・測定・評価し、事業の意思決定に関する情報を伝達する方法について体系的かつ調和のとれたアプローチを提供してくれます。一方で、自然資本を識別する『国際統合報告フレームワーク』は、組織が外部環境との関連で自社の戦略やガバナンス、業績、および見通しを伝達し、それらを時間の経過とともに価値創造に結びつける方法を伝達するために利用されています。

組織は、『自然資本プロトコル』および『統合報告フレームワーク』の両方を採用することにより、自然界を保護・強化しつつ、事業推進と価値創出の方法を変革し、組織自身と社会の両方に向けて価値を創出することが可能となります。また、財務資本の提供者、より広範なステークホルダーに向け、簡潔かつ統合的な方法で、組織の戦略、機会とリスクを伝達することが可能となります。これによって、資本市場は、より効率的かつ生産的な資本配分の決定および金融の安定化に向け、より意義深い情報にアクセス可能となるのです。」

フランス市場における 新たな研究により、 長期的な投資家をもつ 企業にとっての利益が 明らかに

最近の研究は、長期的なアクティブ投資家が保有する株式数と、株式市場の利点との間に接続性が認められることを示している。

IIRC が追求している世界規模の経済ガバナンスにおける重要な変化のひとつは、短期的な資本市場から長期持続的な資本市場へのシフトである。これを実現すべく、IIRC では、短期的な思考および意思決定を永続させるインセンティブの仕組みを終らせるよう呼びかけ、短・中・長期的な戦略、資源配分および価値創造に焦点をあてた報告基準の導入を奨励している。

この最新報告は、収益への期待を調整する際の株価の変動を抑制することにより、市場の変化から企業経営を保護するよう支援を行うなど、長期的投資家たちのコア層をひきつけることによる企業のメリットが生じる可能性について調べている。同報告書はまた、市場変動に対する過敏性の低下によって長期的な事業運営に向けたより高い自由度が経営者にもたらされ、その結果として業績が向上することについても示唆している。

同報告書は、2007 年から 2014 年までのフランス市場において、長期的投資家がより高い株式保有率を示している企業を特定した。こうした企業は、市場「ノイズ」に対して過敏に反応せず、金融危機に際しても株価の面であまり苦しまなかったという仮説の正しさを示す証拠を発見した。同報告書により、こうした長期投資家たちが最大の株式保有者となっている企業の方が、長期投資家が最小の株式を保有している企業よりも、業績面で大幅に優れていることが判明した。

2014年には、米国企業1,066社を調査したハーバード・ビジネス・スクールの研究が、「『統合報告』は、より多くの長期投資家層の株式保有に関係する。」と結論づけている。George Serafeim氏が実施したこの研究により、「統合報告」に向け取組みを行っている企業は、より安定的に投資を誘引できることが明らかになった。同報告書は、「統合報告」の利点を示すより多くの証拠が、投資家のみならず企業にも当てはまることを示している。

SDGs 達成に向けた 役割を特定すべく 「統合報告」に 注目する企業群

IIRC 評議会チェアマン Mervyn King 教授は、「持続可能な開発目標 (SDGs)」の達成に向け、2015年に193カ国政府により合意された目標に自社の企業戦略を合致させることにより、民間セクターがどのように貢献できるかについて討議すべく、国連貿易開発会議の第14回セッションにおいて演説を行った。

King 教授は、以下のように述べている。「(SDGs 関連の) 討論で提起された質問の多くはサステナビリティ報告に関するものでしたが、サステナビリティ報告そのものに対する視点だけではこの問題について考えることは不可能です。サステナビリティ報告を財務報告と統合することが必要であり、それによって利用者が、本当の意味で企業の『活動状況』、および SDGs 達成に向け企業がどのように取組んでいるかについて十分な情報を得た上で企業を評価することが可能となるのです。」教授はさらに「『統合報告』の6つの資本というアプローチは、SDGs のすべてを内包しています。」と述べた。

2016年7月にナイロビで開催されたカンフェレンスでは、世界の貿易および経済の発展などの諸問題に取り組むため、州政府および各国の首脳や閣僚、ビジネス界・市民社会・学界の著名人などが一堂に会した。同カンフェレンスのテー

マは「2030 アジェンダの決議を執行へ」であり、2015年9月の「2030 アジェンダ」および「持続可能な開発目標」採択後に開催された最初の UNCTAD カンフェレンスでもあった。King 教授は、「持続可能な開発目標」を念頭に置き決定する必要のあるリソース配分について検討するセッションに参加した。

SDG 目標を達成するためには、各国政府から投資家、企業から証券取引所まで、市場に関連するあらゆる階層の人たちの協力が必要となるだろう。「統合報告」は、私たちの長期的な繁栄に不可欠な、金融・自然・社会・および人的資源の長期的なバランスを達成するニーズを強化することで、組織の戦略を目標に合致するよう組織を支援することができる。世界中の企業はすでに SDGs へのコミットメントを説明するために6つの資本モデルを活用し始めており、シンガポールに拠点をおく 大手不動産開発会社 CDL が「世界の経済・社会・環境課題の解決策を見出すために、革新的なビジネス手法やパートナーシップを通じ、持続可能な開発に向けさらなる道を切り拓く」試みの一環として、自社の重要問題を SDG 目標に合致させているのはその一例である。

新しい報告スタイルで 組織の文化や価値創造を 整理する重要性を概説

英国「財務報告評議会 (FRC)」による最近の出版物「企業文化と取締役会の役割」は、長期的価値を創造する組織の能力と、組織の事業全般を通じて実践されている組織文化の間関係について、いくつかの重要な見識を提示してくれる。英国という国家のコンテキストにおいて、Sports Direct や BHS (British Home Stores) といった企業のコーポレート・ガバナンスに対する英国議会の調査によれば、企業の評価、雇用、年金などに関して劣悪な質の文化を示唆する意味で英国の現実を示している。企業価値とインセンティブを合致させ、組織全体にポジティブな文化を浸透させることを目標とする FRC 報告書の具体的な提言は、「統

合報告」原則と多くの点で一致している。IIRC は、世界中の多くのステークホルダーの皆様が同報告書をお読みなり、FRC の勧告を実践する方法を模索されるよう強く推奨したい。



[Website](#) [Twitter](#) [LinkedIn](#) [YouTube](#)

Contact: juliet.markham@theiirc.org

Copyright © 2016 International Integrated Reporting Council, All rights reserved.
[unsubscribe from this list](#) [update subscription preferences](#)